

エディス・コーワン大学に留学して～多様な文化とかけがえのない友人との出会い～

学生プロフィール

- 【所属】 都市教養学部都市教養学科理工学系
- 【学生氏名】 久次 幸奈
- 【派遣先大学】 エディス・コーワン大学(オーストラリア)
- 【派遣時の学年】 学部 4 年
- 【留学期間】 8 か月間



留学中のベストショット！
日本語サークルの仲間たちと。書道やお箸のつかみ取りゲームなど、一緒に日本の文化を紹介するのがいい思い出です。

◇ 私が留学を志したきっかけ

幼い頃から英語を習っていて、大好きな英語を話せるようになりたいと思っていた私は、大学入学前から留学に対する憧れがあり、海外留学という未知の世界に挑戦してみたいと思っていました。そこで、まず1ヶ月間、首都大の夏季短期研修に参加し、カナダで語学研修を体験しました。カナダでの1ヶ月は新鮮で楽しく、次は長期で現地の学生と同様に生活し勉強してみたいと思いました。そこで、オーストラリアのエディス・コーワン大学に8か月間の交換留学をすることを決めました。

◇ 留学先の学習について～多様な文化に触れる刺激的な毎日～

交換留学期間のうち最初の10週間は大学付属の語学学校での英語コース、その後は正規の授業を受けました。

語学学校では、大学で勉強するための準備として、授業でのノートの取り方、レポートを書く際の文献の引用方法などを学びました。クラスではインド、イラン、コロンビア、中国、サモアなどの学生と一緒に学ぶことができ、世界のさまざまな国や文化を知る貴重な機会となりました。

正規のセメスターでは、スポーツ科学の授業を3つ履修しました。最初は英語の専門用語が理解できず、まわりはオーストラリア人の学生ばかりで英語を話すことが怖くなり自信を失いかけていましたが、「留学生だから、分からなくて当たり前」と気持ちを切り替え、前向きに授業に取り組みました。徐々に日本と異なる授業形式にも慣れ、挨拶を交わす友達も増えました。



エディス・コーワン大学付属の語学学校で、多様な国々から来た留学生たちと。正規授業を受講する前に、着実にアカデミックな英語を学ぶことができました！

◇ 日本語サークルとシェアハウス～かけがえのない友人との出会い～

授業以外では、日本語を専攻している学生が集まるサークルに参加しました。最初は宿題を手伝うだけでしたが、毎回顔を出すうちに仲良くなり一緒に遊ぶ時間も増えました。夜遅くまで学校に残り、みんなで過ごした日々は忘れられません。また、2回シェアハウスをしましたが、どちらも良いシェアメイトに恵まれました。帰宅後も1人で部屋に籠ることはあまりなく、一緒にご飯を作ったりテレビを見たりして過ごしました。日本語サークルのメンバー、シェアメイトのおかげで、充実した日々を送ることができました。ここで出会った友達は、留学で得た大きなものの1つです。



日本語サークルの仲間たちと。同じく首都大から派遣された田中健太くんもいます。

◇ 世界へ羽ばたけ、首都大生！

オーストラリアでの8か月間は、今まで味わったことのないような気持ちを経験し、いろいろな出来事がありました。自分の弱さに気づき、とことん悩み、とことん考え、自分と真っ直ぐ向き合うことができました。また、かけがえのない友人や楽しい思い出をたくさん作ることができました。自然に恵まれたパースが大好きになり、第2のホームタウンとなりました。この8か月は人生の尺で考えるとほんの一瞬ですが、貴重で素敵な8か月でした。留学は特別なことではありません。「やる気」さえあれば誰でも挑戦できます。是非、首都大学から世界へ羽ばたいてください。



オーストラリアといえばやはりコアラ！パースの大自然も満喫することができました。